



JAL不当解雇撤回ニュース

No 090 号 2011.12.14
発行:JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikekotekkai.com>

12. 6決起集会報告=その2

勝ち取ろう勝利判決! 戻ろうあの空へ!

共に闘う仲間三名の方が、解雇撤回への決意を表明

働く者・女性の立場からも許せません

新日本婦人の会 笠井 貴美代 会長

共に闘う仲間として、心からの連帯と、勝利を勝ち取る決意表明をさせていただきます。こんな無法な整理解雇がまかり通るような世の中は、やっぱり許せません。働く者という立場、女性という立場、空の安全を願う利用者の立場からも、運動を広げてきました。多くの女性達が、介護や子育てなどを通して自分自身の問題と重ねて連帯の運動をしているのが、特徴だと思います。学習会等で原告を何度もお呼びして励ますつもりが、逆にこちらのほうが元気を貰いました。私達は99%です。不当解雇撤回の公正な判決ができるまで、草の根から運動を続けていきましょう。



誇りのために闘う労働者は強い

日本マスコミ文化情報労組会議 東海林 智 議長



去年の大晦日、おせち料理の途中で駆けつけた集会で、私は原告と共に泣きました。しかし私達は、決して泣かされるだけの労働者ではありません。あれから1年、原告は歯を食いしばってがんばってきました、そこには、悲壮感は全くありません。乗員の方は、義務と権利のように笑いをとる挨拶をするし、CCUの皆さんはいつも笑顔で活動しています。「誇りのために闘っている人間はこんなに強い」と実感し、共に闘ってきました。こんな原告がまた悔し涙を流すことがないよう、私達はこの不当解雇を自分の問題として闘い、全力で支援していかなければなりません。糾を強くし、連帯を強めて共に頑張りましょう。

利のように笑いをとる挨拶をするし、CCUの皆さんはいつも笑顔で活動しています。「誇りのために闘っている人間はこんなに強い」と実感し、共に闘ってきました。こんな原告がまた悔し涙を流すことがないよう、私達はこの不当解雇を自分の問題として闘い、全力で支援していかなければなりません。糾を強くし、連帯を強めて共に頑張りましょう。

雇用破壊、それは安全を脅かす

航空安全推進連絡会議 玉地 史郎 議長

航空安全会議は、航空の安全を守るために官民の壁を乗り越えて、不安全要素の排除に日夜取り組んでいます。そもそも、航空安全会議は団体の性格上から、労働条件等に関する課題には一線を画してきました。しかし、日航不当解雇は安全上の大きな問題です。怪我や病気で休んだことが理由で整理解雇になった。こうなると、体調が悪くても休めなくなり、そのストレスがさらに心身に悪影響を与えていきます。まさに安全上の問題なのです。航空安全会議は、安全運航を守るために不当解雇撤回闘争を支持し、共に取り組みを進めて行きます。



重点行動は署名=行動提起

国民共闘 津恵正三 事務局長

行動の最重点は公正判決を求める署名です。多くの署名で不当解雇撤回が国民世論であることを示していきましょう。年明けより月1回の大規模宣伝行動と、週1回裁判所への要請行動で署名を提出します。裁判は12月19日と21日で結審です。今までにも増して、多くの方の支援傍聴をお願いします。



「支える会」の会員拡大で財政支援を

JAL闘争を支える会 柚木 康子 事務局長



JALの不当解雇は第二の国鉄。不当解雇は国による不当労働行為と感じました。原告はそろそろ雇用保険が切れます。財政面から闘争を支えるために、「支える会」の会員を拡大し、皆さんの力でこの闘争を支えていただきたい。

両原告団長が闘いの決意を表明



国際的な理解の広がり、全国には同じ思いの多くの仲間、判決に向けて頑張る

内田妙子 客乗原告団団長

この12月3日からILOの国際会議が京都であり、参加してきました。

争議権への不当介入で団結権が侵害された件に関して訴えてきました、これは、不当解雇撤回裁判とも密接な繋がりがあります。来年3月の判決ができるころには、ILOに勧告を出していただきたいという主旨でしたが、この訴えは国際的に理解され、

しっかりと受け止められているということを感じました。同じ想いの方がこんなにたくさんいるということに勇気づけられました。来年3月の判決にむけてさらに活動していく所存です。



悪天候に乱気流、でも原告は団結して頑張ります

山口宏弥 乗員原告団団長

稻盛会長は法廷内でも外でも整理解雇は必要なかったと言った。

私達の主張は十分正しいといえるのではないかでしょうか。私達の闘いは飛行機でいえば、車輪を上げて、フラップも上げて、クリーンな状態で加速しているところです。さきには、強風に悪天候、さらには晴天乱気流など、

予想がつかないことが待ち構えているかもしれません。しかし原告団は一致団結してあらゆる状況に立ち向かっていきます。



首切り自由を許してはならない！全力で闘おう

金澤 壽 共同代表(全労協議長)

今日は700名もの方達が結集してくれた。この裁判の結果は私たち以上に経営側は関心を持っています。更生計画途中であるならば、いつでもクビを自由に切れるということを認めさせてしまってはいけない。ですからこの裁判では負けることができない。これはすべての労働者に対する責任もあります。100万筆署名を提起したのは私ですが、裁判所は様々な地域にこの闘いが広がっているのだということ

を知るはずです。全力で取り組みましょう。



「あの空へ返ろう」と誓い合う

不当解雇を撤回しよう！集会はこの決意を込めてシュプレヒコールに、団結ガンバロウを三唱。集会のフィナーレはうたごえのみなさん。必ず職場に戻るという決意をこめ、参加者全員で「翼をください」と「あの空へ返へろう」を合唱しました。